

(3) 教育イベント実施報告【かながわ人づくり推進ネットワーク参加団体（民間団体）】

「私学・私塾フェア 2019 神奈川・東京私立中高進学相談会」

主 催：一般社団法人かながわ民間教育協会

会 場：①横浜会場／パシフィコ横浜

②小田原会場／川東タウンセンター

開催日：①令和元年10月6日（日）10：00～16：00

開催日：②令和元年10月6日（日）10：00～16：00

内容等：

学習塾に通っている生徒を対象としている相談会と異なり、県下すべての小中学生・ご父母どなたでも参加できる相談会です。当日は、昨年と異なり天候に恵まれ、他の行事やイベントが気になるところでしたが、両会場とも例年を大幅に上回る入場者となりました。

（参加者層）

各会場に通える範囲の児童生徒、ご父母が参加されていました。このところは子どもが友達と連れ立っての来場よりもご父母（ご家族）との参加が増えています。（参加者の様子）参加者は増えましたが、午前と午後とにうまく分散され、各私立ブースでの個別相談にも熱が入り、対応された私立の先生方とじっくりお話されている姿を多く見ることができました。

（アンケート等での感想）

志望校を決める判断のひとつにできた。学校での説明会と違い、自分の成績をみながら相談してもらった。私立高校の相談だけかと思っていたが、総合案内の場所で公立高校の説明も聞けて参考にできた。塾にいてないので、情報があまりなかったが、よくわからないのに丁寧に説明や相談をしてもらえた。等



▲会場内：相談風景



▲横浜会場

「大学っておもしろい」
漢方で入浴剤を作ろうコーナー

神奈川県母子剣道大会・神奈川県東西対抗剣道大会

主 催：神奈川県剣道連盟

会 場：神奈川県立武道館

開催日：令和元年10月14日（月）

内容等：

朝から昼過ぎまでが「母子剣道大会」です。他都道府県にはない種類の大会で、今年初めて業界新聞メディアの取材が入りました。子どもの健全な成長、母子の絆の深化、ひいては円満な家庭形成の一助となればとの思いも込めての開催です。熱戦が繰り広げられ、母が子を、子を母が応援して一所懸命に戦う様子は微笑ましいと同時に、観戦者がどの試合者にたいしても応援したくなるような真にアツい気分にはさせてくれました。

午後からは、県下各支部の精鋭が代表として対戦。まことに見ごたえのある試合ばかりでした。

大会の様子・雰囲気伝える情報公開をしています。下記のURL 参照ください。

<http://kanagawa-kenren.com/archives/5141.html>



(4) 教育イベント実施報告【市町村教育委員会・県教育委員会】

指定文化財等現地特別公開「泉澤寺の四天立像」

主 催：川崎市教育委員会事務局

会 場：泉澤寺

開催日：令和元年11月15日（金）～11月17日（日）

内容等：

川崎市中原区にある泉澤寺が所有する市重要歴史記念物「木造四天立像」と「泉澤寺本堂」を一般に公開しました。案内及び解説は、川崎市文化財ボランティアの皆様にご協力いただき、多くの方に普段見る機会の少ない文化財への理解を深めていただきました。



相模原市いじめ防止フォーラム

主 催：相模原市教育委員会・相模原市

会 場：相模原市立勤労者総合福祉センター
（サン・エールさがみはら）

開催日：令和元年11月2日（土）

内容等：

(1) 出席者 208 名

内訳：緑区各小中学校代表児童生徒、一般児童生徒、教職員、
保護者、関係団体代表者、行政職員他
うち、緑区代表児童生徒（中学校 11 校 12 名 小学校
26 校 30 名）計 37 校 42 名

(2) 実施内容

①テーマ：

「お互いを認め合うより良い関係づくりに向けて」

②学校や地域における児童・生徒の取組発表

（旭中学校区：旭中学校・旭小学校・橋本小学校・宮上小学校）：
各学校の取組及び小・中で連携した取組の発表

③グループ協議Ⅰ

協議テーマ：

「お互いを認め合うために、自分の学校で取り組んでいる
こと、抱えている課題」

④グループ協議Ⅱ

・児童生徒によるグループ討議

協議テーマ

「お互いを認め合うために、自分たちができること」

「自分たちの取組を進めていくうえで、学校の先生や地
域の大人の方をお願いしたいこと」

・学校関係者・保護者・市民によるグループ討議

協議テーマ

「子どもたちの発表を聞いて思ったこと、感じたこと」

「それぞれの立場で、子どもを認めより良い関係をつく
るために何ができるか」

⑤講 評

相模原市子どものいじめに関する審議会副会長

東京医療学院大学保健医療学部リハビリテーション学科教授

岡田 守弘 氏



第41回 造形「さがみ風っ子展」

主 催：さがみ風っ子文化祭運営委員会

共 催：相模原市教育委員会、相模原市
相模原市立小学校教育研究会
相模原市立中学校教育研究会

会 場：①女子美術大学会場
②淵野辺公園会場

開催日：①令和元年10月25日（金）～11月2日（土）

③令和元年10月26日（土）～10月28日（月）

内容等：

児童・生徒の発表、作品を相互に鑑賞することや市民とのふれあいを図ることを目的として、今年で41回目の造形「さがみ風っ子展」の開催となりました。市立小・中学校で取り組まれた図画工作科・美術科の作品展示を淵野辺公園会場・女子美術会場で行いました。

参加者が楽しむことができる造形コーナーや、中学校美術部生徒によるワークショップ、相模原市立小中学校 PTA 連絡協議会が実施する「ふれあいコーナー」等の設置に加え、オリンピック・パラリンピックをテーマとした子どもたちの作品展示を行いました。



街頭紙芝居

主 催：相模原市立図書館

会 場：模原市立図書館 正面入口前

開催日：令和元年10月27日（日）相

内容等：

自転車の荷台に固定した専用の舞台を用いて4作品を演じ、大人から子どもまで19名の参加者を楽しんでいただきました。手遊びや参加型の紙芝居を交えて盛り上げ、終了時にはスタッフ手製の「ぶんぶんゴマ」をプレゼントしたり、希望者に「おはなし会カレンダー」を配布するなど工夫をしました。

野田隆さん講演会「鉄道旅行の楽しみ方 ～わが鉄道人生を振り返って～」

主 催：相模原市立図書館

会 場：模原市立図書館 大集会室

開催日：令和元年10月26日（土）

内容等：

鉄道旅行作家の野田隆さんより、旅や鉄道についての体験談や、旅行作家としての自身の創作活動についてお話を伺いました。質疑応答も活発に行われ、笑いが起こる場面もあり、終始和やかな雰囲気の講演会となりました。

秋の読書週間関連事業「おはなし会」

主 催：相模原市（相模大野図書館）

会 場：相模大野図書館内

開催日：令和元年11月4日（月・祝）

内容等：

絵本の読みきかせや、エプロンシアター（エプロンを舞台に見立て、ポケットから人形を出したり、エプロンにつけたりしながら演じる演劇）で子どもたちと親御さんに楽しい時間を過ごしてもらいました。（参加者：子ども14名 大人9名 計23名）

昼間の星の観望会

主 催：相模原市立博物館

会 場：相模原市立博物館 天体観測室

開催日：令和元年9月23日（月・祝）

内容等：

午前の部については終始曇天であったため、望遠鏡の紹介を行いました。午後の部は雲の切れ間から低空にある1等星が何とか見えたため、晴れプログラムで実施したものの、低空と強風の影響で天体が参加者にははっきりと見えないという状況が続きましたが、後半は晴れ間ができた天頂付近にある1等星へ導入を変更したところ、参加者もすぐに天体が確認できる観望になりました。

植物学教室「花の観察と植物画」

主 催：相模原市立博物館

会 場：相模原市立博物館 実習実験室

開催日：令和元年10月5日（土）

（10月12日予定の2回目は台風19号の接近により中止）

内容等：

プロの植物画家による指導と、学芸員による植物の構造や形態についての講義を交互に行い、植物画の初心者を受講生に大変好評でした。1回ごとに1枚の植物画を仕上げるため、台風の影響で2回目が中止になったものの、大きな混乱はありませんでした。



北条早雲没後500年連続講演会②「駿河時代の北条早雲～旗揚げの城 興国寺城を中心に～」

主 催：相模原市立博物館

会 場：相模原市立博物館 大会議室

開催日：令和元年10月6日（日）

内容等：

今年で没後500年となる戦国武将として名高い北条早雲の史料が市内に残されていることに関連し開催した連続講演会。

2回目であった10月6日は北条早雲旗揚げの城とも呼べる沼津市の興国寺城の発掘担当者より、発掘成果のほか近年見直される北条早雲の出自、年齢、活動などについて講演いただきました。当日は116名の参加があり、「最新の研究成果を聞くことができた」など好評な意見が多かったです。

企画展「児童文学者 丘 修三」展

主 催：相模原市立博物館

会 場：吉野宿ふじや

開催日：令和元年10月26日（土）～12月1日（日）

内容等：

『ぼくのお姉さん』（偕成社）や小学校の教科書に掲載されている「紅鯉」などを著した市内在住の児童文学者・丘修三さんを著作や絵画などで紹介しました。

関連事業として作者ご本人に、朗読や創作動機など語っていただき、とても好評でした。



生きもののミニサロン

主 催：相模原市立博物館

会 場：相模原市立博物館周辺の樹林地

開催日：令和元年10月26日（土）

内容等：

トウカエデやオオウバユリ、ガガイモなど、風散布によって種子を分散させる植物を紹介し、そのモデルを簡単な工作によって製作しました。



学芸員講話「アンゴラウサギと養兎組合ー中野森戸自治会資料を中心にー」

主 催：相模原市立博物館

会 場：相模原市立博物館 大会議室

開催日：令和元年10月27日（日）

内容等：

戦時中、子どももできる副業として奨励された兎の飼養、養兎の実態を緑区中野森戸自治会に残された森戸養兎組合の資料から明らかにしようとする取組です。参加者は20名と多くありませんでしたが、細かい資料の読み解きからその当時の地域の人々の動きが想定でき、より身近な地域の歴史と日本史全体の流れとの関わりが明らかになりました。



学習資料展～ちょっと昔の暮らし 第18回東京オリンピックの頃～

主 催：相模原市立博物館

会 場：相模原市立博物館 特別展示室

開催日：令和元年11月1日（金）～令和2年2月24日（月・祝）

内容等：

子どもたちに昔の暮らしを知ってもらう「学習資料展」を開催しました。特に今回は東京2020オリンピックが開催されることにちなみ、1964年に開催された、第18回東京オリンピックの頃に使われていた生活道具を紹介しました。子どもだけでなく、大人の方も懐かしいものが見られたと好評でした。



第 43 回ひらつか民俗芸能まつり

主 催：ひらつか民俗芸能まつり実行委員会、平塚市教育委員会

会 場：平塚市中央公民館 大ホール

開催日：令和元年11月17日（日）

内容等：

（出演団体／演目）

神奈川県立高浜高等学校文楽部／寿式二人三番叟

湘南座／壺坂観音霊験記 山の段

相模人形芝居前鳥座（神奈川県指定無形民俗文化財）／絵本太功記 尼ヶ崎の段

眞土神社甚句保存会／眞土甚句

須賀甚句の会／須賀甚句

前鳥神社囃子太鼓保存会（平塚市指定重要無形文化財）／前鳥囃子



第 42 回藤沢公民館まつり

主 催：藤沢公民館まつり実行委員会

会 場：藤沢公民館

開催日：令和元年10月19日（土）、20日（日）

内容等：

さまざまなサークル・地域団体が日頃の活動の成果を披露しました。

第 43 回鵜沼地区公民館まつり

主 催：鵜沼地区公民館まつり実行委員会

会 場：鵜沼公民館

開催日：令和元年10月19日（土）、20日（日）

内容等：

さまざまなサークル・地域団体が日頃の活動の成果を披露しました。

第 44 回村岡ふれあいまつり

主 催：村岡ふれあいまつり実行委員会

会 場：村岡公民館

開催日：令和元年11月9日（土）、10日（日）

内容等：

さまざまなサークル・地域団体が日頃の活動の成果を披露しました。

第 42 回六会公民館ふるさとまつり

主 催：六会公民館ふるさとまつり実行委員会

会 場：六会公民館

開催日：令和元年10月19日（土）、20日（日）

内容等：

さまざまなサークル・地域団体が日頃の活動の成果を披露しました。

第 42 回片瀬地区ふれあいまつり

主 催：片瀬地区ふれあいまつり実行委員会

会 場：片瀬公民館

開催日：令和元年10月26日(土)、27日(日)

内容等：

さまざまなサークル・地域団体が日頃の活動の成果を披露しました。

第 42 回明治地区ふるさとまつり

主 催：明治地区ふるさとまつり実行委員会

会 場：明治公民館

開催日：令和元年10月19日(土)、20日(日)

内容等：

さまざまなサークル・地域団体が日頃の活動の成果を披露しました。

第 42 回御所見文化祭

主 催：御所見文化祭実行委員会

会 場：御所見公民館

開催日：令和元年10月19日(土)、20日(日)

内容等：

さまざまなサークル・地域団体が日頃の活動の成果を披露しました。

第 46 回遠藤地区文化祭

主 催：遠藤地区文化祭実行委員会

会 場：遠藤公民館

開催日：令和元年10月26日(土)、27日(日)

内容等：

さまざまなサークル・地域団体が日頃の活動の成果を披露しました。

第 42 回長後地区ふるさとまつり

主 催：長後地区ふるさとまつり実行委員会

会 場：長後公民館

開催日：令和元年10月19日(土)、20日(日)

内容等：

さまざまなサークル・地域団体が日頃の活動の成果を披露しました。

第 42 回辻堂公民館まつり

主 催：辻堂公民館まつり実行委員会

会 場：辻堂公民館

開催日：令和元年10月26日(土)、27日(日)

内容等：

さまざまなサークル・地域団体が日頃の活動の成果を披露しました。

第 34 回湘南大庭ふるさとまつり

主 催：湘南大庭ふるさとまつり実行委員会

会 場：湘南大庭公民館

開催日：令和元年10月26日（土）、27日（日）

内容等：

さまざまなサークル・地域団体が日頃の活動の成果を披露した。

茅ヶ崎ゆかりの人物館後期企画展「開高家の人びと」

主 催：茅ヶ崎市

会 場：開高健記念館・茅ヶ崎ゆかりの人物館

開催日：令和元年10月12日（土）～令和2年3月29日（日）

内容等：

作家・開高健の家族人としての側面を、妻、娘の作品などから紹介。

絶筆『珠玉』の周辺

主 催：茅ヶ崎市

会 場：開高健記念館・茅ヶ崎ゆかりの人物館

開催日：令和元年10月12日（土）～令和2年3月29日（日）

内容等：

作家・開高健の最後の作品絶筆が完成するまでの軌跡を紹介。

『茅ヶ崎を彩った70人』市史講座

主 催：茅ヶ崎市

会 場：茅ヶ崎市役所

開催日：令和元年10月19日（土）、11月3日（日）

※10月12日（土）開催の講座を台風のため11月3日に延期しました。

内容等：

平成29年10月、茅ヶ崎市が市制施行70周年を迎えた記念に、茅ヶ崎にゆかりのあった人物70人余りを紹介した市史刊行物『茅ヶ崎を彩った70人』を刊行しました。その人物達を掘り下げた市史講座を、平成29年に続き第2弾として開催。本誌に掲載した人物だけではなく、彼らと関わった本誌未掲載の人々や、その時代背景も合わせて紹介したことで、分かりやすく楽しかったとの好評をいただきました。

茅ヶ崎市民文化祭

主 催：茅ヶ崎市

会 場：開高健記念館・茅ヶ崎ゆかりの人物館

開催日：令和元年10月3日（木）～12月1日（日）

内容等：

市民文化の向上と発展のため、10月から12月頭にかけて実施しました。令和元年度は、舞台・展示・文芸の3部門に分かれ、23のイベントを開催しました。

令和元年度読書週間第58回茅ヶ崎市児童・生徒ポスター展

主 催：茅ヶ崎市教育委員会

会 場：茅ヶ崎市立図書館

開催日：令和元年10月18日（金）～11月20日（水）

内容等：

10月27日～11月9日が読書週間であることから、市民の読書意欲の高揚と豊かな市民文化の向上を図ることを目的として実施しました。今年度は市内小学校13校55点、中学校6校19点の応募があり、前年より参加校は2校増えました。開催期間中多くの方に児童・生徒の力作をご覧いただきました。

文字・活字文化の日記念講演「物語作りの5年間～潮風吹くこの街で」

主 催：茅ヶ崎市教育委員会

会 場：茅ヶ崎市立図書館

開催日：令和元年10月27日（日）

内容等：

茅ヶ崎ゆかりの作家 鳴神響一氏による講演会。作家デビューから5年経ち、21作品を出版されたことをうけ、物語作りについてお話しいただきました。地元の作家であることに加え、Q&A形式で語られたお話は大変わかりやすく非常に好評でした。

南湖院講座「高田畊安のドイツ留学」

主 催：茅ヶ崎市

会 場：太陽の郷博修館

開催日：令和元年9月28日（土）

内容等：

茅ヶ崎海岸に結核療養所南湖院を設立した高田畊安は、1911（明治44）年8月、ヨーロッパに旅立ち、ベルリン大学で医学を学んだ。

本講座では、留学中に畊安がベルリンで交流した人たちについて、また、彼の手紙からわかる当時の南湖院と茅ヶ崎の姿について紹介しました。受講者は、高田畊安の様子やエピソードなど、興味深く受講していました。

レクチャー「Shall we 能（know）？」

主 催：公益財団法人茅ヶ崎市文化・スポーツ振興財団

会 場：茅ヶ崎市美術館

開催日：令和元年9月23日（月）

内容等：

講師に山井綱雄氏を迎え、日本の伝統芸能である能の歴史や所作について説明していただいた後、実際に能を舞っていただいた。能を知っている方から全く知らない人まで楽しんでいただいていると思います。

ワークショップ「組上絵を組み上げてみて！」

主 催：公益財団法人茅ヶ崎市文化・スポーツ振興財団

会 場：茅ヶ崎市美術館

開催日：令和元年10月6日（日）

内容等：

切り抜いて組み立てる浮世絵「組上絵」を作成しました。切って貼っての作業を繰り返しながら上手に仕上げていました。

企画展「江戸の遊び絵づくし」

主 催：公益財団法人茅ヶ崎市文化・スポーツ振興財団

会 場：茅ヶ崎市美術館

開催日：令和元年9月7日（土）～11月4日（月・祝）

内容等：

江戸の絵師と版元が趣向を凝らして手掛けた、ユーモアとウィットにあふれた遊び絵の世界を取りあげ、謎解き、隠し絵、文字絵など7つの章から紹介しました。

文教大学公開講座

主 催：公益財団法人茅ヶ崎市文化・スポーツ振興財団

会 場：茅ヶ崎市美術館

開催日：令和元年10月3日（木）～11月30日（土）

内容等：

10月から11月の期間中全5講で開講した。本年度は、「国際交流」をテーマに様々な視点での講座を行いました。

第17回厚木市郷土芸能まつり

主 催：厚木市教育委員会

共 催：厚木市郷土芸能保存会

後 援：神奈川県教育委員会、神奈川県民俗芸能保存協会

会 場：厚木市文化会館小ホール ※①、②両日とも

開催日：①郷土芸能発表会 令和元年10月27日（日）

②相模人形芝居特別公演 令和元年11月10日（日）

内容等：

「相模里神楽垣澤社中」や「三増獅子舞保存会（愛川町／特別出演）」など県や厚木市の無形民俗文化財に指定される団体が一堂に会する『郷土芸能発表会』、国指定重要無形民俗文化財の相模人形芝居「林座」と「長谷座」や人形浄瑠璃「あつぎひがし座」が出演する『相模人形芝居特別公演』を開催しました。



文化財一般公開

主 催：厚木市教育委員会

会 場：厚木市林・王子地区

（林神社、福伝寺、林大坂下地蔵堂、林自治会館）

開催日：令和元年10月18日（金）～20日（日）

内容等：

市指定天然記念物カゴノキ、林神社拝殿、福伝寺本堂・位牌堂・山門、弘安4年板碑、吉田朝右衛門の墓、民右衛門地蔵など林・王子地区の文化財を公開し、ボランティアガイド協会が解説を行いました。また、林・王子地区出土の土器等の展示、相模人形芝居 林座の人形や道具の展示、特別公演（三番叟）及び体験を行いました。



秋期企画展示「木とくらしーヤマの木、サトの木、鎮守の木ー」

主 催：厚木市教育委員会

会 場：あつぎ郷土博物館

開催日：令和元年9月21日（土）～11月17日（日）

内容等：

郷土博物館が収集を進めてきた木製民俗資料、二人挽きロクロ、アジアのロクロ・挽物コレクション（中川重年コレクション）を中心とし、歴史的、民俗的な視点のほか、植物社会学的な視点を交えて紹介しました。



荻野運動公園開園 30 周年記念 2019 あつぎマラソン

主 催：厚木市・厚木市教育委員会

会 場：厚木市荻野運動公園競技場を発着点とする周辺道路

開催日：令和元年10月20日（日）

内容等：

今年度 10 月に開園 30 周年を迎える荻野運動公園を祝して、2019 あつぎマラソンを開催。当日はオリンピックの高橋千恵美さんをゲストランナーとして迎え、また、本市と友好都市である秋田県横手市と沖縄県糸満市から代表選手団の皆様にも御参加をいただき、多くのランナーが健脚を競いました。3 km の部、10 km 及びハーフの部において参加者は 1400 人を超え、スポーツ交流の促進と生涯スポーツの推進を図ることができました。



座間市青少年フェスティバル（相模中学校区）

主 催：相模中学校区青少年フェスティバル実行委員会

会 場：座間市立相模中学校

開催日：令和元年10月26日（土）

内容等：

青少年の自立と連帯を目指し、文化・スポーツ活動等とおし、地域とのふれあいと、青少年相互の交流を深めるためのイベントを実施しました。（ハロウィン仮装体験、ざまりんと記念撮影会、餅つき、綿菓子、ポップコーン、麦茶）

座間市民芸術祭・座間市民音楽祭・児童文化展

主 催：座間市教育委員会

会 場：座間市立市民文化会館（ハーモニーホール座間）

開催日：令和元年10月3日（木）～11月24日（日）

内容等：

市民から募集した書道などの作品展示、詩吟など市内活動団体の舞台発表などの催しや将棋・囲碁などの競技をおよそ2か月に渡り行い13,000人以上の来場があった。また、児童文化展においては市内全小学校の図工絵画書道の作品の発表を座間市立市民文化会館小ホールにおいて開催し、6,000人以上の来場があった。

書庫開放日

主 催：綾瀬市立図書館

会 場：綾瀬市立図書館

開催日：令和元年10月11日（金）、17日（木）、26日（土）、11月8日（金）

内容等：

図書館内の普段入ることができない場所を、司書がご案内しました。書庫にある本を自由にご覧いただき、本の貸出を行いました。

第44回逗葉地区青少年音楽祭

主 催：葉山町教育委員会、逗子市教育委員会

会 場：葉山町福祉文化会館

開催日：令和元年10月27日（日）

内容等：

逗子市・葉山町に所在する中学校、高等学校の吹奏楽部が音楽を通じて交流を深め、音楽活動の振興と青少年の健全育成を図った。

- ・ 参 加：葉山中学校(41)、南郷中学校(30)、逗子中学校(32)、久木中学校(23)、
沼間中学校(25)、逗子高等学校(37) 6団体188名
- ・ 観客数：約550人

第 53 回葉山町文化祭

主 催：葉山町文化協会、葉山町教育委員会

会 場：葉山町福祉文化会館

開催日：令和元年10月31日（木）～11月25日（月）

内容等：

葉山町文化協会に加盟している全ての団体が一同に集まり、ステージ・展示部門共に町福祉文化会館等を会場として一年間の成果を発表した。姉妹都市である草津町の文化団体協議会の作品の展示も行った。

昭和のスポーツレガシー展 ～日本陸上界の発展に貢献した澁谷壽光さんの足跡～

主 催：「昭和のスポーツレガシー展」開催実行委員会

共 催：松田町教育委員会

会 場：松田町民文化センター

開催日：令和元年10月13日（日）～20日（日）

内容等：

来場者の多くは町内の方であったが、中には県外からの来場者もありました。また、陸上競技関係者や箱根駅伝の愛好者、市民ランナーなども来館し、パネルや遺品等、時間をかけて熱心に観覧していました。

なお、ギャラリートークを開催し、展示内容についての詳しいお話を伺うことができ、理解が深まりました。



令和元年度松田町文化祭

主 催：松田町教育委員会

共 催：松田町教育委員会

会 場：松田町民文化センター

開催日：令和元年10月26日（土）、27日（日）

内容等：

当町の社会教育の推進を目的とし、毎年開催している。今年度は、「新しい時代へ文化をつなぐ」をテーマに、舞台展示発表のほか、体験や販売を実施しました。約700名の方の来場があり、賑わいました。町民の文化活動の成果を発表する場となり、町民の文化芸術意識の向上に繋がりました。



令和元年度第 15 回真鶴町民音楽祭

主 催：真鶴町教育委員会

会 場：真鶴町民センター

開催日：令和元年10月26日(土)

内容等：

町内の音楽に関するサークル・グループをはじめ、入学前の幼児、小学生、中学生等が一堂に会し、音楽発表や音楽を楽しむ活動をととして、音楽を愛好する心情を育むことを目的に6団体と幼児交流プログラムの7つの演目を実施しました。約 180 人の観客は各団体の発表を熱心に聞き入り、大きな拍手を送っていました。



第 22 回 産業教育フェア

主 催：神奈川県産業教育フェア実行委員会

(神奈川県教育委員会、横浜市教育委員会、
川崎市教育委員会、神奈川県産業教育振興連合会、
神奈川県農業教育振興会、神奈川県工業教育振興会、
神奈川県商業教育振興会、神奈川県水産教育振興会)

共 催：横須賀市教育委員会

会 場：横浜新都市ビル（そごう横浜店）

開催日：令和元年11月9日(土)、10日(日)

内容等：

今年度も新都市ホール9階の3会場で実施しました。

例年好評であるシビルプラザの農業、商業による販売、水産による透明骨格標本の販売などが行われました。センタープラザでの体験コーナーでは工業の体験も実施され、多くの方々に専門高校をPRすることができました。



(5) 教育イベント実施報告【県立学校】

TECH(テック) LAB(ラボ) 2019

主 催：県立神奈川工業高等学校

会 場：県立神奈川工業高等学校

開催日：令和元年 9 月 28 日 (土)、10 月 19 日 (土)、11 月 16 日 (土)

※ 6 月 22 日 (土)、7 月 13 日 (土)、8 月 17 日 (土)、
9 月 14 日 (土) も実施

内容等：

中学生に工業高校での専門的で魅力的な学習内容を知ってもらうための体験講座である。3 年目となるこのイベントは年間を通して実施され、今年度はのべ 167 名の中学生が参加しました。講座は 2 時間程度で、プログラミングやロボット制御、測量やデッサンなどの講座を実施しています。保護者も同行可で終了後に校内見学もできます。



公開講座「緑高セミナー」

主 催：県立横浜緑ヶ丘高等学校

会 場：県立横浜緑ヶ丘高等学校

開催日：(第 1 回) 令和元年 10 月 19 日 (土)、(第 2 回) 令和元年 11 月 17 日 (日)

内容等：

本校では高い学力と幅広い教養を育成するための取り組みとして卒業生に講師を依頼し、地域の方々にも参加を呼びかけて公開講座を実施しています。第 1 回目は「金融リテラシーの向上とライフデザインの描き方」というテーマで家計管理とライフプランニングや Fin Tech のことについて金融庁に勤務されている方に講演をしていただきました。第 2 回目は「経験が自分を作る！」というテーマで、新聞社支局長として勤務されている方に講演をしていただきました。人生においてどんな選択にも外れはないと自分を信じた経験を基に、講座に参加された方々が新たな情報や物事をさまざまな角度から捉えることの重要性を理解し視野を広げることができる内容でした。

アジアスポーツフェスタ

主 催：モン・スポ (NPO 法人バレーボール・モントリオール会)

会 場：県立横浜国際高等学校

開催日：令和元年 10 月 27 日 (日)

内容等：

今年で 12 回目を迎え、毎年、横浜国際高校を会場として開催されています。モントリオールオリンピックのバレーボールゴールドメダリストを始めとするモン・スポの方々、横浜国際高校の生徒や P T A、関東学院大学や東海大学の学生、国連難民高等弁務官事務所 (UNHCR) など沢山のボランティアの方々、そして様々な分野の企業の後援の協力により、インドシナの難民の方々と、地域の方々が一緒に様々なスポーツを楽しみながら交流を行うスポーツイベントです。当日は、体育館に総勢約 200 人以上の参加者が集い、東海大学の体操部による準備体操から会場は多いに盛り上がりしました。参加者はバレーボールの試合や障害物リレーなどにさまざまな立場、国籍を超えたチームで臨み、一日中楽しみました。また、難民として日本にやってきた経緯、日本での苦労や喜びを参加者から聞くワークもあり、相互理解を一層深めることができました。さらに昼食は、ラオス料理の炊き出しがあり、そこでも交流が広がり、多文化共生社会における深い相互理解と交流が行われた一日となりました。



バンダパンダまつり

主 催：県立上溝南高等学校、JR 橋本駅

会 場：県立上溝南高等学校

開催日：令和元年10月5日（土）

内容等：

平成25年度から実施している JR 橋本駅と本校がコラボレーションした祭りで、PTA、地元自治会、上溝地区の安全・安心まちづくり推進協議会などと協力の下、文化部の舞台公演や出店で地域を盛り上げました。スクールキャラクターのバンダパンダや地域のゆるキャラも祭りを彩りました。最後には本校の音楽科教員と音楽選択の生徒が作成したテーマソング「僕らの番田」を手話とともに歌い、農業体験で収穫した里芋などを来場者に配布をして祭りを締めくくりました。



リフレッシュダンス

主 催：県立座間高等学校

会 場：県立座間高等学校 武道室

開催日：令和元年10月6日（日）、13日（日）、20日（日）

11月9日（土）、16日（土）

計5回

内容等：

ヒップホップダンス経験のある中学生、子育て中の30代、50代の本校保護者、エアロビクスを続けておられる70代の方などの参加があり、交流しながらリズムにのってダンスをしました。音楽に合わせて軽快に動けるように受講生が互いに教え合う場面も見られました。講座の後半30分は創作舞踊部員とともに、ダンスの基本を学びます。「普段あまり動かない体を動かし、動かし方や健康情報を教えてもらい勉強になった。」「高校生との接触が新鮮だった。」などの感想がありました。継続して参加される方があり、繰り返しの内容にならないよう、新たな体験ができるように工夫しています。



国際フェスタ 2019

主 催：県立座間総合高等学校

会 場：県立座間総合高等学校

開催日：令和元年11月14日（木）

内容等：

今年度は開校10周年記念事業の式典を13時から行いました。

そのあと、14時よりフェスタを開始。演目は式典のため例年より少なかったが、式典の参加者の方もいたこともあり、出演者・スタッフの頑張りで大いに盛り上がりしました。



ダンスでリセット ～みんなで楽しむコミュニティライフ～

主 催：県立三ツ境養護学校

会 場：県立三ツ境養護学校 体育館

開催日：令和元年9月15日(日)、10月20日(日)、11月17日(日)、12月15日(日) 計4回

内容等：

卒業生だけでなく、地域在住のダンスをしたい方26名が参加した。先生の振付けを見ながらたっぷり2時間音楽に合わせて動きを練習し、毎回1曲を完成させた。参加者からのリクエスト曲のダンスもあり、グループ毎の発表では、お互いのパフォーマンスを拍手でたたえるなど、終始暖かい雰囲気の中での活動となった。ここからだもリフレッシュし、それぞれが達成感を味わえる楽しい時間となった。

第41回 造形「さがみ風っ子展」

【再掲】

主 催：さがみ風っ子文化祭運営委員会

共 催：相模原市教育委員会、相模原市

相模原市立小学校教育研究会

相模原市立中学校教育研究会

会 場：①女子美術大学会場

②淵野辺公園会場

開催日：①令和元年10月25日(金)～11月2日(土)

③令和元年10月26日(土)～10月28日(月)

内容等：

市立小・中学校、幼稚園・特別支援学校・近隣高校の図工・美術の作品を展示する、日本一のスケールを誇る野外の大作品展です。相模原養護学校は招待校として小学部2年生、5年生、中学部の児童生徒の作品を出展しました。今年度もたくさんの方に児童生徒の作品を鑑賞していただくことができました。



▲相模原養護学校作品展示

麻溝公民館文化展

主 催：麻溝公民館

会 場：麻溝公民館

開催日：令和元年11月2日(土)、3日(日)

内容等：

施設が新しくなって初めての麻溝公民館での文化展が開かれ、地域の方々の様々な作品が展示されました。今回初めて模擬店やお茶会も開かれ、700人を超える来場者がありました。相模原養護学校は中学部作業班と高等部職業班の製品や活動の様子がわかるポスターを出展しました。地域の学校として、子どもたちの活動を知っていただく機会になりました。



▲相模原養護学校展示

かながわ教育月間中に教育イベントを実施した県立学校一覧

◆高等学校 110 校

神奈川工業高等学校、横浜翠嵐高等学校、城郷高等学校、横浜平沼高等学校、横浜緑ヶ丘高等学校、横浜立野高等学校、横浜清陵高等学校、横浜国際高等学校、光陵高等学校、商工高等学校、希望ヶ丘高等学校、旭高等学校、磯子工業高等学校、磯子高等学校、氷取沢高等学校、釜利谷高等学校、港北高等学校、新羽高等学校、霧が丘高等学校、市ヶ尾高等学校、田奈高等学校、元石川高等学校、川和高等学校、新栄高等学校、舞岡高等学校、横浜桜陽高等学校、上矢部高等学校、柏陽高等学校、金井高等学校、横浜栄高等学校、松陽高等学校、横浜緑園高等学校、横浜修悠館高等学校、瀬谷西高等学校、川崎高等学校、大師高等学校、川崎工科高等学校、新城高等学校、住吉高等学校、川崎北高等学校、多摩高等学校、向の岡工業高等学校、百合丘高等学校、生田東高等学校、菅高等学校、麻生総合高等学校、麻生高等学校、横須賀高等学校、横須賀工業高等学校、海洋科学高等学校、追浜高等学校、横須賀明光高等学校・大楠高等学校、平塚江南高等学校、平塚農業高等学校、高浜高等学校、平塚商業高等学校、平塚湘風高等学校、鎌倉高等学校、七里ガ浜高等学校、大船高等学校、深沢高等学校、湘南高等学校、藤沢西高等学校、藤沢工科高等学校、小田原高等学校、小田原東高等学校、小田原城北工業高等学校、茅ヶ崎高等学校、茅ヶ崎北陵高等学校、鶴嶺高等学校、茅ヶ崎西浜高等学校、逗子高等学校、逗葉高等学校、相原高等学校、上溝高等学校、相模原高等学校、上溝南高等学校、上鶴間高等学校、橋本高等学校、相模原青陵高等学校、相模原総合高等学校、弥栄高等学校、相模田名高等学校、秦野高等学校、秦野総合高等学校、厚木高等学校、厚木東高等学校、厚木商業高等学校、厚木北高等学校、厚木清南高等学校、厚木西高等学校、大和高等学校、大和南高等学校、大和東高等学校、伊志田高等学校、海老名高等学校、有馬高等学校、座間高等学校、座間総合高等学校、相模向陽館高等学校、足柄高等学校、綾瀬高等学校、綾瀬西高等学校、寒川高等学校、大磯高等学校、二宮高等学校、吉田島高等学校、愛川高等学校、城山高等学校、津久井高等学校

◆中等教育学校 2 校

平塚中等教育学校、相模原中等教育学校

◆特別支援学校 23 校

平塚盲学校、平塚ろう学校、鶴見養護学校、横浜南養護学校、保土ヶ谷養護学校、三ツ境養護学校、中原養護学校、高津養護学校、武山養護学校、平塚養護学校、鎌倉養護学校、藤沢養護学校、茅ヶ崎養護学校、相模原養護学校、秦野養護学校、伊勢原養護学校、座間養護学校、津久井養護学校、麻生養護学校、岩戸養護学校、相模原中央支援学校、横浜ひなたやま支援学校、えびな支援学校

事業概要

家庭や地域の教育力の充実にむけ、従業員の家庭教育に係わる活動を支援・推進している家庭教育に理解のある事業者を「協力事業者」として、神奈川県教育委員会と協定を結び、家庭の教育力の向上を図っていく事業です。



■協力事業者に取り組んでいただくこと

家庭教育啓発資料の配布

家庭教育を支援、推進する取組みの実施

（例 ノー残業デーの設定、子ども参観日、工場見学など）

■県教育委員会の支援

県ホームページで、協力事業者を紹介

広報用ポスター等に協力事業者名を掲載し、P R

家庭教育通信「の・ぼ・り・ざ・か」

神奈川県教育委員会では家庭教育通信「の・ぼ・り・ざ・か」を作成し協力事業者の取組みや新しい協力事業者等を紹介しています。

以下に、最新号（第15号）に掲載している協力事業者の取組みを紹介します。

取組例①

日本ゼオン株式会社 川崎工場

取組内容

- 従業員や地域住民の家族を対象とした工場見学を受入れ、ものづくりの現場を知って頂くことと、家族・子どもとふれあう時間の場を提供する。
- ソフトボール大会、納涼祭等の実施により家族・子どもと触れ合う場を提供する。

日本ゼオン株式会社川崎工場では、工場見学を中心とした教育活動を進めており、採用実績のある高等専門学校向けの工場見学やインターンシップ受け入れ、地域の学童保育所児童を対象とした化学実験教室などを開催してきました。化学実験教室では、工場で生産された合成ゴムを原料とした実験をおこなっており、今後も化学工場をもっと身近に感じていただけるよう取り組んで参ります。



取組例②

NSK マイクロプレジジョン株式会社 藤沢工場

夏休み親子工場見学会

開催日時：2019年8月21日（水）14:00～16:10

開催イベント：実験教室、工場見学、長谷川貴彦氏（ワールドヨーヨーコンテスト AP 部門
2002/2005/2011 世界チャンピオン）のパフォーマンス など

NSK マイクロプレジジョン藤沢工場で、NSK グループの社員の子供も及び父母を招待し「夏休み親子工場見学会」を実施しました。今年で 10 回目となる本イベントには、小学生から中学生までの子供と父母、29 名が参加し、実験教室や工場見学ツアーなどを楽しみました。実験教室では、摩擦の大小を体験する実験やベアリングの組立体験を行いました。工場見学では、普段は見ることのできない精密ベアリングの製造現場を見学しました。



取組例③

住友電気工業株式会社 横浜製作所

稲荷祭

開催日時：2019年4月7日(日) 8:30～13:00

開催イベント：駅伝大会、バンド演奏、防災体験(起震車・煙体験)、車展示会、
こども工作室・絵画展、ふれあい動物園、
射的・わたあめ・クレープ・唐揚げ他模擬店、稲荷神社(所内)参拝

住友電工横浜製作所では、4月第1日曜日に創業記念祭として開催している「稲荷祭」に社員の家族や地域の皆さまをご招待しています。参加者は年々増えており、現在は約 1,700 名の参加規模となっています。メインイベントは駅伝大会ですが、その時期は製作所内の桜が満開となり、社員食堂を開放してお花見気分楽しんでいただいています。ほかにも夏祭りなど地域の皆さまとの交流を大切にして、地域とともに発展を続けていきます。



家庭教育通信「の・ぼ・り・ざ・か」（第 11 号から）や本取組みの詳細は神奈川県教育委員会のホームページに掲載されていますので、詳細は以下のホームページをご覧ください。

URL) <https://www.pref.kanagawa.jp/docs/gt2/jigyosyarenkei.html>